

コロコロお絵描き どんぐり編

■プログラムの概要

ねらい	・どんぐりの感触を楽しみながら、いろいろな種類があることを知る。 ・どんぐりを転がして描くことを楽しむ。		
キーワード	身近な自然		
対象	幼児		
時間	45分	実施場所	室内
使用するもの	・どんぐり ・お菓子の空き箱 ・カップ ・絵本 ・どんぐりを入れる容器 ・絵の具 ・プラスチックスプーン ・どんぐり実物大シート ・画用紙 ・絵筆 ・濡れ布巾		
全体の流れ	<p>【事前準備】 絵本「どんぐりころころ」を見る。 散歩先等でどんぐりを採集しておく。</p> <p>1. 導入 採集してきたどんぐりを実物大シートと照らしあわせる。 種類の違いに気付き、名前を知る。</p> <p>2. 制作説明 実演しながら手順を説明する。</p> <p>3. コロコロタイム 空き箱の中でどんぐりを転がして描く。</p> <p>4. まとめ 感想を聞き、作品を発表する。</p>		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
	<p><事前準備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本「どんぐりころころ」を見る。 ・散歩先等でどんぐりを採集しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に読んでから出かけることで、どんぐりの種類への興味を広げるきっかけにもなり、採集の意識も変わってくることを期待される。 ・どんぐりの帽子（殻斗）部分は、種類の違いのヒント（気づき）にもなるので、付いているものは、取らずにそのままにしておく。葉もあれば持ち帰ると良い。 ・土などは取り除き、きれいにしておく。
15分	<p><導入></p> <ul style="list-style-type: none"> ・採集してきたどんぐりを実物大シートと照らしあわせる。 ・種類の違いに気づき、名前を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが採集してきたどんぐりを使用することを知らせ、子ども達の気持ちを盛り上げる声掛けを行う。 ・実物大シートに並べたり重ねたりして、自由に考える。
7分	<p><制作説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実演しながら手順を説明する。 <p>・画用紙をセットした空き箱、絵の具、プラスチックスプーン等を配る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具を溶いて色の見本を見せる。 ・濃度調整が必要な場合はここで行っておく。（濃い方がしっかりと描ける） ・保育士がテーブルを回り、どんぐりが描いた線を見せる。
18分	<p><ココロタイム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き箱の中でどんぐりを転がして描く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・転がす様子を見守り、反応や発言に共感したりしながら、楽しく描けるようにする。 ・絵の具のついたどんぐりを出し入れする際は、必要に応じて補助する。
5分	<p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想を聞き、作品を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕があるときや子ども達の集中力が続く場合には、他の自然物（木の実・丸みのある小石等）に対しても関心を向けさせ、興味を次へとつなげていく。

■使用するもの

物 品 名	数 量	備 考
どんぐり	適宜	
どんぐりを入れる容器	子の人数分+ α	
画用紙	人数分+ α	空き箱の大きさより小さめのもの
お菓子の空き箱	人数分+ α	お盆・バット・プラスチック・ザル等の四角い入れ物でも代用可
絵の具		1人3色まで
絵筆	1色につき1本	絵の具を溶くために使用
カップ	1人につき3個	紙コップ等でも良いが倒れやすいので注意する
プラスチックスプーン	人数分+ α	絵の具を浸した木の実の取り出しに使用する
濡れ布巾		絵の具がついた木の実に直接触れた場合の手拭き用
絵本「どんぐりころころ」		作：大久保茂徳、発行：ひさかたチャイルド ※他のものでも可
どんぐり実物大シート		

■実施にあたって留意する点

- どんぐりが採集できる公園については、実施前に近隣の公園を確認しておくことが望ましい。
- どんぐり拾いを行った後、さほど間が空かないうちに活動を行うようにする。
- どんぐりを見つけられない場合を考慮して、あらかじめいろいろな種類を準備しておくことよい。
- 長時間の活動が可能である場合は、採集時に種類調べも行い、帰園後にそのまま制作へと続けても良い。
- 絵の具は色の種類は多くしすぎないようにする（3色くらいまでが適当）。
- コロコロタイムの際は、服が汚れないように工夫する。

（コロナ禍での工夫）

- 用具は共有せず、一人ひとりに用意すると良い。（例えば1人につき、カップは3個（＝3色）、プラスチックスプーンは1本）
- 子どもに色を選択させる場合には、事前に色の希望を聞きとっておくと、時間が短縮できる。

■参考資料

○実物大シート（例）

使用する絵本に、どんぐりの実物大の種類が紹介されているページがあれば、シートにして活用することができる（実際に子どもが手に取り、実物とじっくり見比べることができる）。

